草津市教育委員会だより
コンパス
COMPASS
第 47 号
令和6年12月
発行

令和6年度草津市総合教育会議を開催しました

総合教育会議とは

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、市長と教育委員会が連携して教育行政の推進を図ることを目的とした会議で、地方公共団体の長が設置し、首長及び教育委員会（教育委員及び教育長）で構成されます。教育に関する大綱の策定、教育の条件整備等重点的に講ずべき施策の他、緊急の場合に講ずべき措置などについて、首長と教育委員会で協議を行います。今年度の総合教育会議を、令和6年10月18日（金）に草津市役所にて開催しました。

令和6年度草津市総合教育会議

テーマ１は、**「多様な教育ニーズへの対応について」**　です。社会が急激に変化を続ける中、小中学校における教育的ニーズも多様化しています。今回の総合教育会議では

（１）日本語指導などの支援
（２）不登校児童生徒への支援
（３）インクルーシブ教育の充実

を中心に、草津市でのこれまでの取組や現状から、課題や今後の方向性などを協議しました。

誰も取り残さない　一人ひとりに応じた　みんなが共に学ぶ
多様化する教育ニーズに柔軟に対応できる学校づくり

（1）日本語指導などの支援

・外国人児童生徒は少しずつだが増加傾向。
・多言語化が進み、通訳者が確保できない。
・今後、言語以外の面との複合的な課題を有する場合も予想される。

〇国や県とも連携して支援の充実を。
〇大学と連携した留学生などの人材発掘、活用を。
〇先進的な取組についての情報収集や研究など、準備が必要。

（2）不登校児童生徒への支援

・草津市は、
〇フリースクール利用者への補助金
〇やまびこ教室の増設
〇登校支援加配教員の配置　　など、先進的な取組を進めてきている。
・不登校児童生徒の状況改善など成果は見られるが、人数は増加傾向。

〇オンラインフリースクールを補助金対象とするなどの検討。
〇やまびこ教室の充実。
〇登校支援室を、落ち着いて活動できるような設えの整備
など、今後も取組の充実を。
☆不登校になるまでに、すぐに相談できる体制の整備は重要。

（3）インクルーシブ教育の充実

・個別の配慮を必要とする児童生徒が増加。
・特別支援学校が望ましいとされながら、地域の小中学校への就学を希望する児童生徒などの増加。
・周囲の理解がないと、いじめや不登校の要因になることも。

〇障害のあるなしに関わらず、みんなが一緒に学ぶことを大切にする「インクルーシブ教育」への、子どもや保護者の理解を深めていくことが必要。
〇共生社会の実現に向けて、インクルーシブ教育の充実を。

テーマ２は、「**草津市の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策の大綱（案）**」　です。教育振興基本計画第４期計画の策定とあわせて総合教育会議にて大綱を見直すため、協議・調整を行いました。

【大綱とは】

地方公共団体の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるもの。

【現在の大綱】令和２年度の総合教育会議で、教育振興基本計画（第３期）の「第４章　計画の基本理念と施策の基本方向」に前文を添えて大綱とすることを決定し、令和３年２月に策定しました。

【大綱の対象とする期間：Ｒ２～Ｒ６の５年間】
（教育振興基本計画の第３期の期間と同じ）

【次期大綱】教育振興基本計画（第４期）の策定と合わせて大綱を見直し、現在の大綱と同様に、**教育振興基本計画（第４期）の「第４章　計画の基本理念と施策の基本方向」に市長の思いを盛り込んだ前文を添えて、大綱とすること**を確認しました。

基本理念　子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ

施策の基本方向	基本項目
子どもの生きる力を育む	１．主体的に社会の形成に参画する資質・能力の育成
	２．豊かな心の育成
	３．健やかな体の育成
	４．確かな学力の育成
学校の教育力を高める	５．多様な教育ニーズへの対応
	６．教職員の指導力と学校経営の充実
	７．教育環境の充実
社会全体で学びを進める	８．家庭・地域での学びと生涯学習の充実
	９．スポーツの充実
歴史と文化を守り育てる	１０．文化・芸術の振興
	１１．文化財の保存と活用

【大綱の対象とする期間：Ｒ7～Ｒ11の５年間】
（教育振興基本計画（第４期）の期間と同じ）

［担当］　児童生徒支援課　（TEL）077-561-2437
教育総務課　（TEL）077-561-2425

ホームページURL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/kaigishingikai/hokoku/kyoikubunka/20221121.html

「アートフェスタくさつ」を開催しました！

秋の恒例行事となった「アートフェスタくさつ」を今年も開催しました。今年度はあいにくの雨となりましたが、多くの方が参加してくれました。大人も子どももアートに夢中になった一日でした！

▲絵本のひろば　読み聞かせ

【わくわく体験ひろば】

多くのワークショップが出展、みんな笑顔で楽しく手を動かしていました。

▲華道

▲尺八

▲紙飛行機

【クリエイターズマーケット】

雨にもかかわらず、多くの方に楽しんで頂き、ワークショップや飲食ブースはにぎやかで、ライブも好評でした。

▲飲食ブース

▲ワークショップ

▲ライブ

【一夜限りの星降る映画館】

夜に行う予定だった草津川跡地公園での星降る映画館は、楽しみにして頂いておりましたが、雨の為、残念ながら中止となってしまいました。

[担当]　生涯学習課　（TEL）　077-561-2428

国スポ・障スポに参加しよう！
ボランティアの仕事やおもてなしの様子を紹介！

わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025

【ボランティアは大会を支える大きな力！】

2025年に開催する「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」に向けて、草津市ではボランティアを募集しています。

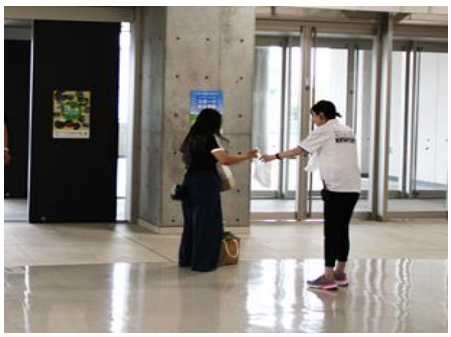
8月～11月に実施した国スポリハーサル大会では延べ400名以上のボランティアの皆様に御従事いただき、大会を一緒に盛り上げていただきました。

受付業務や、会場案内、お弁当の配布や、おもてなしとしてドリンクの配布、また、美しい会場で来場者を迎えるための環境美化の仕事や、啓発ブースでの広報活動など、様々な場面で活躍いただいています。

▲受付業務

▲ドリンク配布

▲啓発ブースでの広報活動



▲会場案内

▲環境美化の仕事

【広報活動だけでも参加可能！国スポに参加できるチャンス！】

ボランティア活動で一緒にスポーツを「する」「みる」「支える」「知る」

市実行委員会公式SNSでは、国スポ・障スポの様々な最新情報を掲載しています。大会会場に行けなくても、広報ボランティア（広報サポーター）としてSNSを応援する活動も、大会を支える大きな力になります！詳細は市ホームページを御覧ください！

[担当]国スポ・障スポ推進室（TEL）077-561-1510

ホームページURL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/bunka/sports/zenkokusports/volunteer/kusatsuvolunteer.html

秋季テーマ展「市制施行70周年記念　草津の70年」を開催しました

【「草津市」はこうして生まれた】

昭和29年(1954)に草津市が誕生してから今年で70年を迎えたことを記念し、「市制施行70周年記念　草津の70年」を開催しました。

第１章「公文書にみる草津市誕生」では、市と滋賀県が保管する当時の公文書から、草津町と志津村・老上村・山田村・笠縫村・常盤村の１町５村の合併による草津市誕生の様子を紹介。各町村の意気投合から施行まで、わずか50日で実現された合併の経緯をカレンダーにして展示しました。新市発足への情熱溢れる展開に、「意外と面白い」という感想もいただきました。

第２章「写真でたどる70年」では、70年前から現在に至るまちの様子を、写真や「市勢要覧」などの記録冊子、空中写真で紹介しました。現在との違いや共通点などを見つけて楽しんでいただけたようです。

【70年を遊んで学べる「すごろく」を作成】

テーマ展にあわせて、草津市誕生から現在までの道のりをたどるすごろくを作成しました。市内の全小学生と各中学校に配布したほか、草津宿街道交流館でもお配りしています（なくなり次第終了）。

▲公文書と合併経緯の展示

▲すごろくで遊ぶワークショップも開催

［担当］　草津宿街道交流館（TEL）　077-567-0030

ホームページURL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kusatsujuku/index.html

市制施行７０周年記念事業　絵本マラソン

【司書が７０冊の絵本を読みつなぐ】

１１月３日（日・祝）に、くさつ図書館まつりを開催しました。

市制施行７０周年を記念し、７０冊の絵本を６時間かけて司書がバトンタッチしながら読み聞かせをする「絵本マラソン」を行いました。多くの方が様々な絵本の世界を楽しんでくださいました。

【ほかにも図書館と本を楽しむイベントが盛りだくさん！】

▲ビブリオトーク

▲子ども向けおはなし会

▲大人向けおはなし会

▲折り紙づくり

▲黒板アート

▲書庫ツアー

［担当］　図書館　（TEL）077-565-1818

令和６年度
第６２回草津市青少年美術展覧会

【子どもたちの力作、約２，０００点を展示！】

今年で６２回目となる「草津市青少年美術展覧会」が、１０月２５日（金）～１０月３１日（木）まで、市民総合交流センター「キラリエ草津」の５・６階を会場として開催されました。

本市の公立・私立の就学前施設および小中学校に通う幼児、園児、児童、生徒を対象に、図工・美術・書写作品の発表の場として、毎年開催しております。その作品数は、図工・美術の平面・立体作品、書写の硬筆・毛筆作品を合わせると、約２，０００点にもなります。

例年、市民の皆様に本市教育への興味や関心を高めていただく場としてたくさんの方にご来場いただき、展示された子どもたちの力作に見入り、じっくりと鑑賞される姿が今年度も多く見られました。

▲鑑賞の様子▲

▲図工・美術の平面・立体作品

［担当］学校政策推進課（TEL） 077-561-6981

新教育委員の紹介

－小辻　寿規（こつじ　ひさのり）さん－

10月13日に小辻寿規さんが教育委員に就任されました。小辻委員は令和２年に教育委員に就任いただき、今回２期目となります。任期は４年間となります。

【プロフィール】

小辻　寿規（こつじ　ひさのり）

立命館大学　共通教育推進機構　准教授

R2.10.12～R6.10.12　草津市教育委員（1期目）

R6.10.13～　草津市教育委員（2期目）

【教育委員就任の抱負】

この度、草津市の教育委員に就任させていただきました小辻寿規です。教育委員として２期目の機会をいただくことになりました。１期目におきましては、多くの皆様のご協力とご支援により業務を遂行できましたこと、心より感謝申し上げます。１期目を振り返らせていただきますと、小中学校の教育においてICTの活用が目覚ましく進み、New草津型アクティブ・ラーニングは「主体的・対話的で深い学び」として全国に先駆けて推進されてきました。また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの人員拡充、やまびこ上笠教室の開室、フリースクール利用児童生徒支援補助金の制度化など、不登校支援の充実にも携わらせていただくことができました。

その間にAI時代はより発展し、生成AIによる技術革新は止まるところを知りません。このような時代において、児童・生徒たちは自ら成長し、社会と向き合い、自分自身で何を学ぶべきかを考えることが重要です。教育はそのような成長を支える役割を果たさなければなりません。

最近、保護者の方から「子どもが社会との関わりを考えるようになり、能動的に教科の学習をするようになった」とのお話を伺いました。学びの形が変わってきたと感じさせていたく機会となりました。社会が変化していく中で、教育には柔軟性と多様性がますます求められています。

皆様と共に、草津市の教育の未来を築かせていただけますと幸いです。

［担当］　教育総務課　（TEL）077-561-2425

ホームページURL	https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/gyoseijoho/kyoikuiinkaiin/kyoikuiinshokai.html